

2020年度も多くの企画、運営をしていきます！

ご挨拶

早いもので純正会地域包括ケア推進委員会が設立されてから3回目の春を迎えました。
本来は新年度の活動に向けて意気軒高として取り組んでいきたいところですが、全世界で猛威を振るっているコロナウイルスの影響で毎月の委員会が開催できていない状況にあります。
そのため通信の発行をお休みしてしまいましたが、法人内外の多くの方から委員会活動について関心を寄せられ、委員会活動は自粛しますが通信の発行は今まで通り行うことにしました。
医療、福祉、地域をつなぐ役目を担っている委員会としてコロナウイルスに関する各施設の状況をお伝えし、今私たちが専門職として一丸となってコロナウイルスに立ち向かっていけるよう頑張っていきたいと思

コロナの影響影響はこんなところまで

地域で暮らす在宅療養者の皆さんはコロナウイルスに対する恐怖が強く多くの方が不安の中生活されています。

Aさんの場合

Aさんは、糖尿病、肺気腫の基礎疾患があります。1か月に1回病院に定期受診をされている中、コロナウイルスが世間を騒がせている中、近所のうわさで受診先の病院にコロナウイルスの患者さんが入院しているという噂で以来受診することができなくなりました。
当方は「飲み忘れた薬をきき集めて何とかする」と話しています。

*現在は電話診療を行っている病院が増えました。薬の処方してもらえます。

Bさんの場合

Bさんは認知症があり息子さん家族と同居しています。息子さん家族は工場を自営しています。昼間は一人で過ごすBさんが在宅で介護を受けており認知症がもたらす不安が顕著になってきました。しかし、隣接する区で、デイサービスでコロナウイルスが蔓延したニュースを見て息子さん家族は心配になってしまいました。またデイサービスでBさんが感染してしまっただけで濃厚接触者になってしまっただけで仕事を休まなければならないのではないかと家族全員が食っていかなくなってしまうと家族全員が食って

Cさんの場合

Cさんは今まで同居の家族が急遽検査入院することになりショートステイを利用する予定でした。しかしコロナウイルスが蔓延するようになってから地域のショートステイの施設が感染予防のため新規の利用者の受け入れができなくなり、Cさんはショートステイが利用できなくなり、結局、他県の親族がCさん家族の代わりにCさんの介護をすることになりました。

*家族の介護疲れが憎悪しないように介護療養相談を行い対応しています。

地域ではコロナウイルスによりたくさんの相談があがっています。地域で活躍するケアマネさんたちは療養者さんの生活を支援するため毎日感染対策を徹底しながら奮闘しています。倒！コロナ！お過ごしください。

「私たちは、社会的距離があるけれど心はそばにある」(日本看護協会 福井トシ子会長の言葉) 日本テレビ「シューイチ」にて

各医療機関の様子

名古屋西病院

当院では、全職員に対し、コロナウイルス感染症の基礎知識習得のため、資料配布と関連動画の閲覧義務から開始し、職員の感染予防の意識向上に努めました。患者病棟においては、患者への面会を基本禁止とし、外部からの感染侵入を防いでいます。食事提供の際は、患者間に一定の距離を保つていただくなどの対策を講じています。外来診療においては、定期患者様の電話再診を導入しています。

東洋病院

外来診療、入院の受け入れは通常通り行っています。感染対策として、来院者全員の検温と病状チェックを正面玄関で行っています。受付スタッフが、外来看護師の負担がないように、事務長はじめ全職員当番制でやっています。

小牧第一病院

当院では、新型コロナウイルスの流行に伴い、令和2年3月17日より入院患者様への面会を全面禁止とさせていただきます。一部、病院からの呼び出し等は除く。



在宅サービスの様子

訪問看護ステーション太極・居宅介護支援事業所太極では新型コロナウイルス拡大に向け事業所として感染対策を強化してきました。2月24日には太陽の全職員に対して、訪問看護・居宅介護支援における新型コロナウイルス対策についてとしての対策内容の周知文書を発行し、その後利用者様、利用者家族様、ケアマネジャーさん、介護サービス関係職員の皆様に対して複数回にわたり今後の対策などについて文書を発行してきました。予定されている研修やカンファレンスを中止し、直行直帰、時差通勤、テレワークなど取り入れ感染拡大の防止めとなるよう努力しています。一人でも感染者を出すと事業所として機能できなくなる可能性があるため毎日戦々恐々の思いです。3つの密を避け、コロナウイルスを閉鎖に恐れるのではなく正しく理解して正しく防御することが大切と考え、利用者様、ご家族様に向き合い、職員一丸となって頑張っています。特にマスクは全く入荷がなく困っていましたが、職員が立休布マスクを作ってきてくれました。今はこうして職員皆で使っています。布マスクはウイルスを遮断することはできませんが自分の咳やくしゃみによる飛沫を予防し保湿効果もあります。かわいい柄のマスクをつけて暗い気分を上げて毎日奮闘しています。

